

AgroCognitive Dash powered – Venezuela & LATAM (month 2)

ハイライト

- o ダッシュ排他：3年
- o 署名プロセスでのDash Coreのエスクロー
- o ニュージーランドのDash DAO株式のジョイントベンチャーへの出資
- o カテゴリーの採用：革新と採用のユースケース（このサンプルビデオを参照してください！）
- o 主要セクター：農業と食物連鎖
- o プロジェクトロードマップ：最初の配達に3ヶ月残っている
- o 資金を求める：
- o この提案は、月2回の資金調達のためのものです（ダッシュコアの遅延によるエスクロー規則の変更によりエスクローされません）
- o 次の提案は、3月、4月、5月および6月（Dash Coreエスクローの下）
- o 地理的範囲：ベネズエラ（1年目）とLATAM（2年目と3年目）

ダッシュのネットワークの利点

- o アグリビジネスの生産的かつ商業的な連鎖の根幹を辿ることにより、高額通貨の流通が活発なセクターでのDASHの採用が保証される
- o DASHは古い問題を解決するのに役立ちます。個々の農家は農作物の管理にハイテクにアクセスできません（今日は高価です）。今や人々は、銀行、産業独占、または政府に依存しない分析サービスにアクセスすることができます。彼らが作物を改善し、環境汚染物質の使用を減らすことができる安いサービスを支払うことができるだろう。より多くの食べ物と安い！
- AgroCognitiveプロジェクトは、AgroCognitiveサービスに支払うだけでなく、DASHを実際の現金とすることのメリットを教えるために、農業労働組合とのトレーニングワークショップ（農業フェア/エキスポに参加する）を実施する。彼らのコミュニティ
- o サプライヤー（小規模農家）にDASHで支払うアグリビジネスの顧客に動機付けをする。
- o AgroCognitiveロードマッププランニングに続いて、2019年4月までに2種類の作物のみがDASHで60万ドルの支払いを完了する（600K USD相当）
- AgroCognitiveは既に3年間独占契約を結ぶためにDash Coreに手を差し伸べている。
- Cryptocurrencyが受け入れられる唯一のものはDASHであり、排他期間中の唯一の支払い方法です
- o DASHはすべてのブランド露出を持ち、「このソリューションはラテンアメリカの人々の生活を変える」と授与され、新興国の新しい食料経済に革命を起こす技術のブランドとなるプロジェクトの核となるだろう

ダッシュのDAOのメリット

- ・ニュージーランドのDash DAO社は完全には完了していませんが、AgroCognitiveのチームはDAO Companyにプロジェクトの株式を提供することを約束しています
- ・アグログロニティブが業務に入ると、事業の主要な決定は提案書を通じてDAOと相談される

エグゼクティブサマリー

この提案はAgroCognitive Project（第2段階）の次のステップです

今日の世界的な農業は、環境の世話をしながら新しい需要に応じて食糧を供給し、新興経済システムを可能にするために多くの課題に直面しています。

精密農業は供給（肥料、除草剤など）の面で効率的で環境を保護することを目指していますが、これは一般の農家（特にベネズエラ）が投資できないセンサーや特殊装置への大規模な投資が必要です。

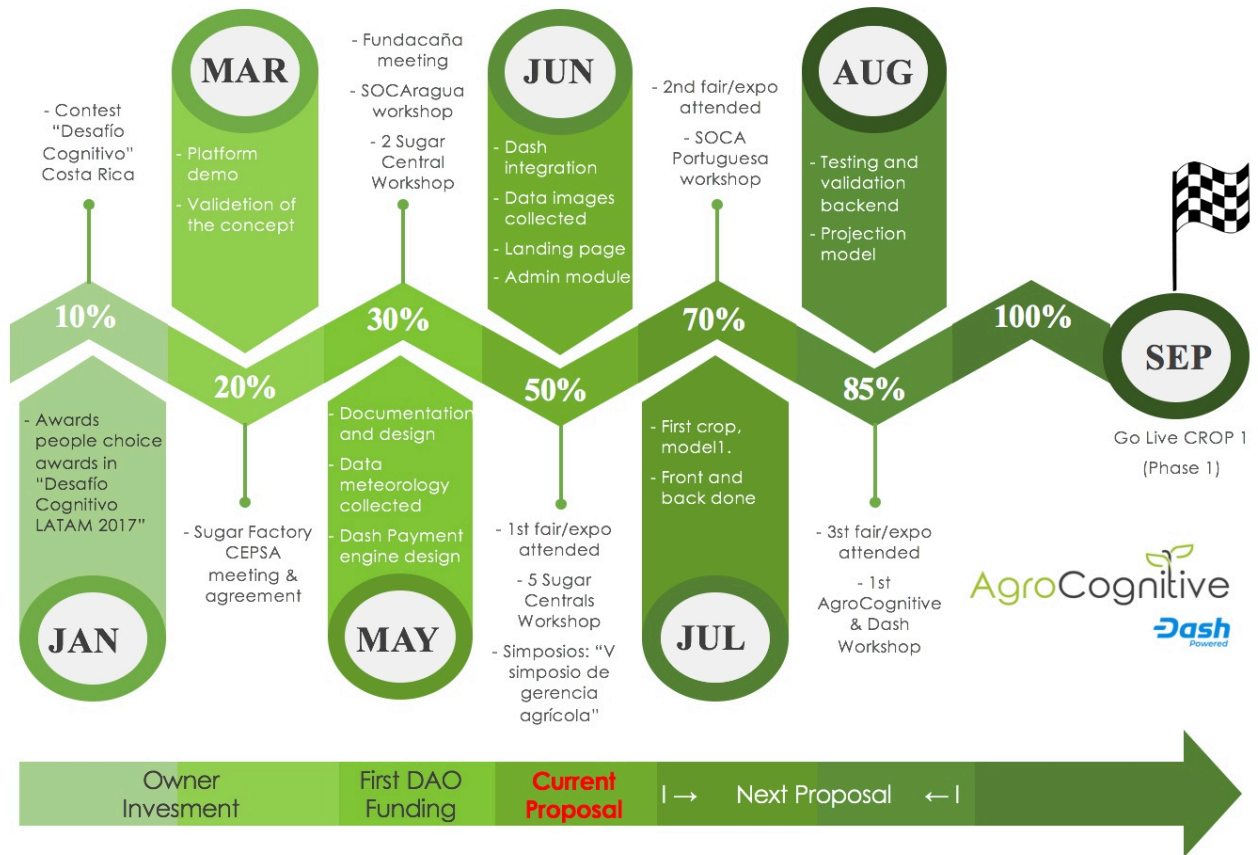
AgroCognitiveは、作物のレジストリを摂取して、説明的な分析（作物で何が起きているか）、処方分析（肥料、水和、燻蒸など）、予測分析銀行や政府の仲介なしに、DASHのような普遍的な即時の技術を支払い方法として使用することで、農家に安い料金を提供します。

この提案は、DASHの技術的および商業的な統合によりAgroCognitiveを実現することです。DASHはこのプロジェクトに実現可能性を与えますが、ネットワークは食糧生産チェーンのルートでの採用を確実にし、すべてのブランド露出の利点を有する

プロジェクトロードマップの更新

- ・UXレイアウト設計（50%）
 - ・設計された論理層（100%）
 - ・設計されたデータレイヤー（80%）
 - ・ダッシュ支払いエンジンの設計（100%）
 - ・以下の農業団体と農業団体との技術協力協定に署名する作業。
 - FUNDACAÑA
 - SOCA
 - AZUCA
 - CEPESA
 - CENTRAL AZUCARERO PORTUGUESA
 - ・ロサンゼルス大学農学部との学校との技術協力の契約
 - ・UPDRONE（写真作物の無人機で撮影するローカルサービスプロバイダ）とのチーム契約。このパートナーシップは、AgroCognitiveの機械学習エンジンを訓練するために来月から必要とされています。UPDRONEはDASHで支払いを受け取ります
 - ・CryptoLifeX（ローカル交換DASHプラットフォーム）とチーム契約を結び、CryptofileXのWebサイトでAgroCognitiveの支払いの底を開発する。
 - ・必要な機器の購入（フェーズ1）
 - ・AgroCognitiveチームが新しいオフィスに移籍
- 課金される分析モデルのデータ収集（サトウキビの温度と湿度履歴データ、生産とブリックス&ポール）。

Agro認知ロードマップのグラフィックス：



資金を求める：

次は次の段階の予算です（2018年6月）。

AgroCognitive Cash Flow Statement

Project begins:

01/05/18

JUN

01

Cash to Pay Out

Purchases (Cloud Services)	3,000
Purchases (IBM Watson APIs services subscription)	0
Purchases (Software Licences Adobe, Office, Antivirus)	750
Gross wages	500
Implementations expenses	11,000
Customer's training & "How to use DASH's" workshops	
Supplies (office & operations)	365
AgroCognitive Office's repairs & reshuffle	1,000
Marketing Expenses	1,000
Travel & Living (to attend to farmers fairs/expo)	1,000
Accounting & legal services	
Rent (AgroCognitive's Office)	150
Telephone + ISP (includes first month installation)	200
Utilities	15
Taxes (Sales tax, etc)	0
Other expenses (Drone Services)	4,500
Other (IBM Watson support)	225
Consulting Services	3,600
Miscellaneous	1,000
Total	28,305

Cash to Pay Out (Non P&L)

Capital purchase (Laptops, Routers, etc)	3,000
Contingency (includes market volatility)	5,661
Next period Dash Proposal Submmit	2,000
Total	10,661
Total Cash Paid Out	38,966
Pair DASH/USD rate reference	400
Dash Treasure injections (funding)	91